



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 節生
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR部長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（国内機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	128,524	△9.8	10,153	△23.1	10,126	△32.7	8,272	△24.8
2020年6月期第3四半期	142,505	△15.6	13,200	△39.8	15,050	△35.0	10,993	△36.4

（注）包括利益 2021年6月期第3四半期 12,103百万円（26.8%） 2020年6月期第3四半期 9,547百万円（5.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	167.96	—
2020年6月期第3四半期	223.06	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	290,276	168,204	55.7
2020年6月期	282,350	161,093	54.6

（参考）自己資本 2021年6月期第3四半期 161,750百万円 2020年6月期 154,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	—	—	80.00	80.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	△2.9	16,500	3.4	16,500	△8.6	12,500	16.1	253.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	49,355,938株	2020年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	106,808株	2020年6月期	108,718株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	49,248,518株	2020年6月期3Q	49,281,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2020年6月期第3四半期 連結累計期間	2021年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	119,295	133,122	11.6%
売上高	142,505	128,524	△9.8%
営業利益	13,200	10,153	△23.1%
経常利益	15,050	10,126	△32.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	10,993	8,272	△24.8%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的流行の影響により制限を受けた経済活動の段階的な再開や各国の経済対策により持ち直しの動きがみられますが、感染再拡大や米中貿易摩擦など先行き不透明感は拭いきれておりません。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界においては、5Gの普及に伴うスマート社会実現に向けた投資に加え、コロナ禍のリモートワークや巣ごもり需要に対応した投資など活発化の動きがみられます。足下では、ファウンドリーやロジックメーカーによる先端投資の活発化やメモリ投資再開の動きがみられます。中国ではエレクトロニクス分野で国産化に向けた投資が活発化しています。フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、液晶から有機ELにシフトする中、液晶パネル投資の大型商談が一段落するなど一時的な調整局面にありましたが、有機ELパネルの大型基板量産開発への取組みや、巣ごもり需要に対応した液晶パネル投資の動きもみられます。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,331億22百万円(前年同期比138億27百万円(11.6%)増)、売上高は1,285億24百万円(同139億81百万円(9.8%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は101億53百万円(同30億47百万円(23.1%)減)、経常利益は101億26百万円(同49億24百万円(32.7%)減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は82億72百万円(同27億21百万円(24.8%)減)となりました。

当社は世界各地で事業を展開しており、新型コロナウイルスの世界規模での拡大に伴う各地への移動制限などにより、当社グループの事業に一部影響が出ておりますが、状況に応じて必要な対策を講じることでその影響の最小化に努めております。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2020年6月期第3四半期 連結累計期間	2021年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	96,094	109,603	14.1%
売上高	119,662	106,405	△11.1%
営業利益	11,536	9,447	△18.1%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置は、スマートフォン用有機ELパネル投資や大型液晶パネル投資により、受注高は前年同期を上回りました。売上高は前期の受注高減少の影響により前年同期を下回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連はメモリ投資の再開、電子部品関連はパワーデバイスやオプトデバイス等の投資活発化、中国のエレクトロニクス国産化に向けた商談活発化などにより、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(コンポーネント)

コンポーネント関連は、半導体電子関連を中心に回復の動きがみられ、真空ポンプ、計測機器などが寄与しましたが、自動車関連投資停滞の影響などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置、医療用凍結真空乾燥装置などが寄与し、受注高は前年同期を上回りましたが、売上高は前年同期を下回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,096億3百万円、受注残高は672億63百万円、売上高は1,064億5百万円となり、94億47百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2020年6月期第3四半期 連結累計期間	2021年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	23,201	23,519	1.4%
売上高	22,843	22,119	△3.2%
営業利益	1,578	1,222	△22.5%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

主にFPD用スパッタリングターゲットを中心に受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(その他)

高精細、高機能ディスプレイ向けマスクブランクス関連や表面分析機器関連が減少し、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は235億19百万円、受注残高は66億69百万円、売上高は221億19百万円となり、12億22百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

前連結会計年度末に比べ、79億26百万円増加となりました。主な要因は、現金及び預金が113億67百万円、たな卸資産が19億95百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が62億85百万円減少したことなどによります。

（負債）

前連結会計年度末に比べ、8億16百万円増加となりました。主な要因は、前受金が33億49百万円、支払手形及び買掛金が6億38百万円それぞれ増加した一方で、短期借入金が18億50百万円、長期借入金が13億13百万円それぞれ減少したことなどによります。

（純資産）

前連結会計年度末に比べ、71億11百万円増加となりました。主な要因は、利益剰余金が43億24百万円、その他の包括利益累計額が31億67百万円それぞれ増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少、前受金の増加などのプラス要因に対し、たな卸資産の増加、仕入債務の減少などのマイナス要因により、200億32百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形及び無形固定資産の取得による支出、投資有価証券の売却による収入などにより、22億41百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の減少、配当金の支払などにより、85億84百万円の支出となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、112億92百万円増加し、892億40百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月11日に公表しました2021年6月期の連結業績予想を修正することとしました。当該予想に関しては、本日（2021年5月14日）公表しました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,694	92,062
受取手形及び売掛金	66,702	60,417
商品及び製品	3,883	3,838
仕掛品	21,004	22,709
原材料及び貯蔵品	10,217	10,553
その他	6,903	7,523
貸倒引当金	△419	△400
流動資産合計	188,985	196,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	29,115	28,642
機械装置及び運搬具 (純額)	19,312	18,002
工具、器具及び備品 (純額)	1,638	1,486
土地	8,344	8,442
リース資産 (純額)	2,567	2,987
建設仮勘定	4,213	6,321
有形固定資産合計	65,189	65,879
無形固定資産		
リース資産	53	39
ソフトウェア	973	1,276
その他	2,251	2,038
無形固定資産合計	3,278	3,353
投資その他の資産		
投資有価証券	11,869	10,920
繰延税金資産	6,108	6,564
その他	9,343	8,232
貸倒引当金	△2,422	△1,374
投資その他の資産合計	24,898	24,342
固定資産合計	93,365	93,575
資産合計	282,350	290,276

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,439	32,078
短期借入金	11,266	9,416
リース債務	666	672
未払法人税等	1,340	1,398
前受金	11,569	14,918
賞与引当金	2,686	4,761
役員賞与引当金	372	267
製品保証引当金	1,672	1,205
受注損失引当金	1,323	1,250
その他	9,952	8,506
流動負債合計	72,285	74,470
固定負債		
長期借入金	38,577	37,264
リース債務	1,999	2,411
繰延税金負債	27	6
退職給付に係る負債	7,363	6,979
役員株式給付引当金	156	183
資産除去債務	402	405
その他	447	354
固定負債合計	48,972	47,602
負債合計	121,256	122,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	126,571	130,895
自己株式	△349	△343
株主資本合計	151,007	155,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,301	4,260
為替換算調整勘定	△572	3,450
退職給付に係る調整累計額	△1,482	△1,297
その他の包括利益累計額合計	3,246	6,413
非支配株主持分	6,840	6,454
純資産合計	161,093	168,204
負債純資産合計	282,350	290,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	142,505	128,524
売上原価	103,111	91,856
売上総利益	39,394	36,669
販売費及び一般管理費	26,194	26,515
営業利益	13,200	10,153
営業外収益		
受取利息	124	132
受取配当金	542	646
持分法による投資利益	337	440
その他	1,895	1,442
営業外収益合計	2,898	2,659
営業外費用		
支払利息	327	378
新型コロナウイルス感染症対応費用	46	744
その他	675	1,563
営業外費用合計	1,047	2,686
経常利益	15,050	10,126
特別利益		
投資有価証券売却益	3,261	2,476
固定資産売却益	—	53
特別利益合計	3,261	2,529
特別損失		
固定資産除却損	—	79
減損損失	175	—
関係会社清算損	—	360
特別損失合計	175	439
税金等調整前四半期純利益	18,136	12,216
法人税、住民税及び事業税	4,589	3,577
過年度法人税等	583	—
法人税等調整額	1,368	30
法人税等合計	6,540	3,607
四半期純利益	11,596	8,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	603	338
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,993	8,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	11,596	8,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,230	△1,049
為替換算調整勘定	△858	4,071
退職給付に係る調整額	167	185
持分法適用会社に対する持分相当額	△128	286
その他の包括利益合計	△2,049	3,493
四半期包括利益	9,547	12,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,014	11,439
非支配株主に係る四半期包括利益	533	664

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,136	12,216
減価償却費	5,787	6,178
減損損失	175	—
固定資産除却損	—	79
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,009	△1,206
賞与引当金の増減額 (△は減少)	622	1,972
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△143	△137
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△75	—
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	3	28
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	100	△514
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2	△73
受取利息及び受取配当金	△666	△778
支払利息	327	378
持分法による投資損益 (△は益)	△337	△440
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,261	△2,476
固定資産売却損益 (△は益)	—	△53
売上債権の増減額 (△は増加)	5,734	7,972
たな卸資産の増減額 (△は増加)	847	△1,245
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,586	△1,349
前受金の増減額 (△は減少)	△3,964	2,550
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△721	△117
その他	906	263
小計	14,875	23,249
利息及び配当金の受取額	723	826
利息の支払額	△345	△385
法人税等の支払額	△6,068	△3,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,185	20,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,533	△4,603
定期預金の払戻による収入	3,162	4,608
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,659	△5,241
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,175	269
投資有価証券の売却による収入	3,371	2,553
その他	75	174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408	△2,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,402	△262
長期借入れによる収入	25,700	3,750
長期借入金の返済による支出	△6,006	△6,616
配当金の支払額	△5,173	△3,944
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△1,227	△1,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,892	△8,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	2,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,650	11,292
現金及び現金同等物の期首残高	55,859	77,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	74,509	89,240

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	119,662	22,843	142,505	—	142,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,592	950	3,542	△3,542	—
計	122,254	23,793	146,047	△3,542	142,505
セグメント利益	11,536	1,578	13,114	86	13,200

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	106,405	22,119	128,524	—	128,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,357	1,191	3,549	△3,549	—
計	108,763	23,310	132,073	△3,549	128,524
セグメント利益	9,447	1,222	10,669	△516	10,153

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	106,405	88.9
真空応用事業	22,119	96.8
合計	128,524	90.2

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
FPD及びPV製造装置	34,848	32.8
半導体及び電子部品製造装置	38,811	36.5
コンポーネント	19,752	18.5
一般産業用装置	12,994	12.2
計	106,405	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
材料	11,296	51.1
その他	10,823	48.9
計	22,119	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。